

物語のはじめに

松ヶ崎は、錦江湾奥の海沿いに位置し、

麓と辺田の二つの集落からなる、東西に細長い地域です。

背後は始良カルデラの急峻な山に囲まれており、耕作地の少ない土地で、

昔から漁業と林業およびそれらの交易によって生計を立てていました。

明治四十年前以前は、今のように海伝いに垂水方面に行く道はなかったので、

船ないしは山越えの道を利用する必要があり、

錦江湾沿いの国分へ行くにも遠い土地柄でありました。

また、樹木の繁茂する場所であったために、

安徳天皇と落人伝説の史跡や、豊臣政権の五大老の一人であった宇喜多秀家公の潜居地、

島津斉彬の艦艇造船所など、

歴史の表舞台では語られることのない物語が古より伝えられています。

